



# PTA新聞

ふくおかけん

発行所/福岡県PTA連合会  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50  
福岡県吉塚合同庁舎5階  
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767  
発行人/松尾 和昭  
編集/広報委員会



県P連電子メールアドレス info@fukuokakenpta.gr.jp 県P連ホームページアドレス http://www.fukuokakenpta.gr.jp

## 福岡県PTA連合会

## 県に陳情書提出

# コロナ下、子どもたちを 保護者、先生と支えます

福岡県PTA連合会(県P)は9月6日、松尾和昭会長ら5人が福岡県教育庁を訪れ、「令和3年度小・中学生の青少年健全育成とPTA活動の振興等に関する陳情書」を中嶋健一社会教育課長に手渡しました。新型コロナウイルスの第5波が続いている中、松尾会長は「私たち大人が子どもたちをどう支えていくのか、考え、PTAは何をやらなければならないのか考え進みたい」と強い決意を表明しました。

陳情書は①児童生徒の命と健康を守る安全対策②教育の充実を図る教職員配置③教育環境の整備④生徒指導の充実⑤PTA活動の振興⑥その他⑦の6項目。古泉慎也総務委員長は、通学

路周辺の安全対策に関する相談窓口の設置など安全対策の推進、「増加傾向にある性的マイノリティへの差別や偏見をなくすための対策」もアピールしました。

中嶋社会教育課長は「PTAは学校、地域社会をつなぐ要として活動している」と述べて、コロナ対応については「情報交換をしっかりとし、協力しながら進めていきたい」と抱負。関係部署に陳情内容を伝え回答することを約束しました。



陳情書を手渡す松尾会長(右から2人目)ら県Pの皆さん

手交式後は

松尾会長は「例年行われる陳情書提出は、今の時代に必要な内容が取り入れられています。PTA連合会としても継続的に要望する内容の必要性も伝え、保護者、先生たちと一つになって子どもたちを支えていきたい」と話しています。

## 三行詩コンクール

## 入賞・入選作 決まりました

日本PTA全国協議会(日P)が募集していた令和3年度の三行詩コンクール(後援・文部科学省、厚生労働省)の福岡県PTA連合会(県P)関係分の入賞・入選作品が決まりました。

県P内の応募は3部門計678作品。優秀賞の15作品は日Pに推薦されました。優秀賞には賞状と副賞(図書券)、入選者には賞状が贈られました。入賞・入選者は次の通りです。

### 小学生の部 優秀賞

テレビよりゲームよりネットより大切なのはぼくのリアル  
石川 耕多/太宰府市立太宰府小4年

一人で食べるとさみしいご飯二人で食べるとおいしいご飯家ごとと食べると楽しいご飯  
月足 穂乃花/八女市立立花小6年

つらいときかぞくにはなしてなやみなし  
猪口 仁/八女市立立花小1年

マスクをしてても笑顔満点なごあいさつ  
堤 月菜/筑前町立東小田小5年

たくさんの人々を苦しませるウイルスが手あらいと命の大切さを、教えてくれた。  
伊藤 笑琉/糸島市立南風小4年

入選  
碓山 蒼/糸島市立南風小5年  
牛嶋 太一/八女市立立花小6年  
浦田 大雅/太宰府市立水城小6年  
櫻木 友真/朝倉市立朝倉東小5年  
木下 天華/春日市立春日東小1年  
富永ひより/春日市立春日東小4年

### 中学生の部 優秀賞

いつからか素直に言えない感謝の言葉心の中では、毎日思うありがとう  
山口 結愛/八女市立南中3年

「いつかやる!」そんないつかはやってこない  
中村 虎太郎/八女市立南中3年

我が家ではためいきついたら「吸わんね」と言われる大きく吸って明るい方へ  
井上 暖菜/八女市立南中1年

普通にご飯を食べ、普通に学校に行って、普通に勉強をして普通に眠る。地球のどこかに住んでいる子供は、これが普通ではない。  
鬼木 ルル/八女市立南中1年

なにげない毎日をたいせつに生きていく  
平田 葉空/八女市立南中1年

入選  
川田 颯太/八女市立南中3年  
河野 彦惺/八女市立南中3年  
瀬戸 大陽/八女市立南中3年  
信國 光稀/八女市立南中1年  
牛島 優那/八女市立南中1年  
平島 琉花/八女市立南中1年

### 一般の部 優秀賞

「いってらしゃい」は心配まじり「おかえり」は安心でいっぱいいつも元気な「ただいま」を待つ  
城戸 久美子/春日市立春日小保護者

「ちょっとまって」あなたの「ちょっと」は1時間?  
川原 睦美/太宰府市立水城小保護者

もう少しもう少し我慢の日々を懐かしむみんなの笑顔がその先に  
麻生 真由美/春日市立春日小保護者

親の心は子の笑顔が全て。子の笑顔は日々の楽しさ。それはコロナ禍でも関係ないと改めて思う。  
松島 千恵/太宰府市立水城小保護者

ダメ・やめなさい。ごめんなさい。より、いっぱい言いたい大丈夫・いいんだよ。ありがとう  
橋村 真梨子/八女市立南中保護者

※令和4年度の応募要項は、4月に発表の予定。三行詩とは、三行程度の短文となつています。たくさん応募を、お待ちしております。





広川町は人口2万人ほどの自然豊かな町です。町の一番東側に位置する上広川小学校には、約200人の子どもたちが毎日元気に学校に通っています。

上広川小PTAは親子のコミュニケーションを少しでも増やすことを目的にした活動を学校と協力しながら進めてきました。始まりは、近年の情報機器の発達に伴って親子のコミュニケーション不足を案じた保護者からの声でした。それから、実態を把握するためのアンケート調査や、情報機器との上手な付き合い方を保護者と子どもと一緒に学ぶ講演会の開催、親子でのルール

## 南筑後



「うちどく」学び、豊かな心育む  
● 広川町立上広川小

作りなどを行ってきました。その中で、特にコロナ禍でも確実に継続できたのが「うちどく」の取り組みです。写真。子供の読書離れを食い止めたという学校の取り組みを後押しする意味もありました。

まだまだ感染状況は厳しい中にありますが、親子で本を介してコミュニケーションの機会を少しでも増やすことは、不安な心を癒やし、豊かな心を育むことにつながるものと信じています。

これからもささやかながらも活動の灯火を絶やすことなくPTA一同努めていきます。(上広川小PTA会長 橋村 幸子)

良山中学校では、創立70周年を迎えた2017年から、校区内の自治会を始め、幼稚園から大学までが参加する「良山中校区人権のつどい」を毎年、中学校を会場として開催しています。

3つの部門に各関係団体から参加いただき、役割分担や進め方など会議を重ね、協力して準備しています。

ステージ部門の体育館では、高校生と大学生が司会を務め、幼稚園や保育園の歌やダンスの発表から始まり、小・中・高校生はそれぞれ人権学習の発表や演劇や演奏・朗読など毎年、どの学校も趣向を凝らした

## 北筑後



地域と取り組む人権学習  
● 久留米市立良山中

内容となっており、小・中学校のPTAも合同の合唱団を結成し、参加しています。写真。

展示部門では人権標語やポスターなどの展示、体験部門では車いすや妊婦、視界の悪いゴーグルを着けての白杖体験など、大学生のボランティアも参加しています。

昨年は新型コロナウイルスの影響により、開催を見送りました。今年も厳しい状況が続いており、開催できるか心配ですが、今後も地域に開かれた学校づくりを継続できるように、新たな開催方法を模索しながら前向きに取り組んでいきたいと思えます。

(良山中PTA会長 野村 賢太郎)

平野中学校は、シティブランド・ランキング1位に選ばれた大野城市の南部に位置し、毎年3つの小学校から300人前後の生徒が入学してくる962人の大規模校です。

全校生徒が集まることは、容易ではありませんが「話そう、関わろう、繋がろう」を合言葉に、PTA役員・委員会が活動を行っています。残念ながら新型コロナウイルス感染症防止の影響で昨年度から、ほとんどの学校行事、PTA活動が中止という状況が続いています。PTA活動の中で、にぎわいをみせる行事は、毎年11月の土曜参観の後に行われる「友愛セール」で

## 福岡



話そう・関わろう・繋がろう  
● 大野城市立平野中

す。友愛セールでは、部活動アトラクション、物品バザー、食バザーを行っています。部活動の保護者会単位で出品されていて餅つき、写真、フライドポテト、焼きそば、カレーライス、鳥の炭火焼きなどバラエティーに富み、地域の方も参加しています。次年度の新生を対象とした、制服リサイクル販売も行われており、大いににぎわいを見せます。

今年度も開催することはできませんが、PTA役員メンバーで今できることをできる範囲のスタンスを進めていき、生徒たちの学校生活のサポートをできればと思っています。(平野中PTA会長 黒上 勝史)

## With コロナ時代の研修会の一つの形示す



オンライン開催を意識した工夫が随所にみられた会場

日本PTA全国研究大会・九州ブロック研究大会に参加して

会にテレビ界で著名な西田二郎氏の仕切りの下、2つのトークセッションと3つの事前テーマ会のVTR映像、オンライン6名+1名のパネリストを交えたのは目標・理想なので、明日からどうやって具体的に実現していくかをそれぞれの現場で考えることが大切だろうと思えます。

コロナ禍の中で準備段階からさまざまな紆余曲折が、Withコロナ時代の研修会の一つの形を示した大会となりました。

非常に盛りだくさんの内容だったにもかかわらず、

(福岡県PTA連合会 副会長 廣瀬 啓)

8月21日、2年ぶりの日本PTA(日P)の研究大会となる北九州大会が、「じりつ、創造、尊重、調和」そして成長をひらこう未来のどびら・やっぱPTA「ちゃく」のスローガンのもと、日本PTA全国研究大会(日P大会・九州ブロック研究大会(九P大会)としては初めて、オンライン配信で開催されました。

前半の九P大会と日P大会全体会では、例年通りの式次第ながら、ビデオメッセージによる来賓祝辞や、オンラインでの次年度開催地(日Pは山形、九Pは沖縄)のアピール、登壇時のBGMや表彰者の写真入りスライドなど、オンライン開催を意識した工夫が随所に見られました。

記念講演では、総合司

### 日本PTA九州ブロック研究大会北九州大会で表彰された皆さん

- 団体 (県P関係・敬称略)
- 筑紫野市立天拝中PTA
  - 小郡市立宝城中保護者教師会
  - みやま市立山川中父母教師会
  - 遠賀町立島門小PTA
  - 福智町立赤池中父母教師会
  - 行橋市立仲津中PTA
- 個人
- 天野 亮 (筑紫野市立天拝中PTA)
  - 山田道夫 (小郡市立宝城中保護者教師会)
  - 元根圭介 (久留米市立浮島小父母教師会)
  - 後藤正和 (みやま市立山川中父母教師会)
  - 下田章人 (中間市立底井野小PTA)
  - 中村雄司 (福智町立赤池中父母教師会)
  - 塩川辰郎 (飯塚市立穂波東小PTA)



(3)

# PTA通信

**北九州**



**医師ら招き「いのちの授業」**  
● 鞍手町立鞍手中

鞍手中学校は、2つの中学校が統合し、開校7年目を迎えています。学校の周りを田畑や果樹園に囲まれ、自然がとても豊かです。

昨年度から、コロナウイルス感染拡大防止のため、従来通りのPTA活動を行うことができていませんが、本校のPTA活動について紹介します。

鞍手中PTAには、「学習委員会」「安全委員会」「広報委員会」があります。学習委員会は教育講演会や文化祭での実用品バザーの企画を、安全委員会は校区の危険個所の点検や見回りを、広報委員会は学期ご

とに広報紙の発行を行っています。

今年度、学習委員会では、婦人科・女性内科医、助産師の方2人を招き、性教育について講演していただきました。写真。思春期の特性や男女の特性、生命の尊さについて考える機会となりました。ぜひ来年度は保護者の方々と交えて、学習したいと思います。

感染症拡大を食い止めることが、PTA活動で一番大切だと思います。今後も各家庭が先生方や地域と協力し、「令和」をたくましく生き抜く「へらてっ子」を育てていきたいと思っています。

(鞍手中PTA会長 山科 剛司)

**筑豊**



**今日も元気に「あいさつ運動！」**  
● 飯塚市立大分小

飯塚市立大分小学校は、豊かな自然とさまざまな史跡に恵まれ、近年はJR筑前大分駅の電車本数増加や八木山バイパスの整備で、福岡都市圏にも便利な場所にある学校です。

大分小学校では、例年、PTA活動として「校区合同バレーボール大会」や「教育講演会」「廃品回収」などを行ってきました。

しかし、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのPTA活動ができない状況になってしまいました。

そんな中でも「子どもたちの安全を守ろう」と、保護者と地域の見守り隊の方々が

校長先生と一緒に正門や校区の危険個所に立ち、登校して帰る子どもたちを見守る「あいさつ運動」を行っています。写真。

毎日、登校を見守ってくださる方々から、「前に比べて大きな声であいさつするようになったね」「〇〇さんは止まってくれた車にちゃんと頭を下げていたよ」と気になることや子どもたちの様子を教えてくださいたいです。そんな時は子どもたちを見守ってもらっているのを感じます。

これからも子どもたちのためにできることを考えながら、保護者・学校・地域で連携してPTA活動を行っていききたいと思います。

(大分小PTA会長 鈴木 力和)

**京 築**



**地域と共に交通安全教室**  
● 上毛町立唐原小

唐原小学校は、全校児童62人、PTA会員は、45世帯の学校です。これまで運動会では、子どもと地域が共に楽しめる種目を考えたり、相撲大会では、まわし締めや審判を手伝い、子どもたちの白熱する取り組みを応援したりしてきました。

各学年の親子ふれあい活動は、保護者同士のコミュニケーションの場となっています。さらに、昨年度からコロナ禍で行事が中止や縮小されていますが、感染症対策を十分に行いPTA活動を進めています。

PTA保健安全委員会が中心に行う交通安全教室。写真。では、運動場に模擬道路

をつくり、自転車を準備し、子どもたちが実際に体験しながら学ぶことができるようにしました。分担してコースに立ち、日差しが強く暑い日でしたが横断歩道で、しっかり右左右と安全を確認する姿や交差点を慎重に自転車で渡る姿を見ると改めて安全への意識が高まりました。学習後、子どもたちの「ありがとうございました」の素直な声にPTA活動の充実感を感じました。

その他、除草作業や広報紙「しんじゅ」の発行や教育講演会など今後も地域・保護者・学校がつながり協力してPTA活動を行っていきます。

(唐原小PTA会長 奥 清香)

**いじめ防止 標語コンテストに応募を**

自分たちの問題として

福岡県PTA連合会(県P)など共催の令和3年度の「いじめ防止標語コンテスト」の募集要項が決まりました。

①「いじめ」を自分たちの問題としてとらえている  
②「いじめ防止」に対して強いメッセージが感じられる作品  
—などが選考基準になっています。

**応募内容** いじめの防止・根絶を呼びかけるもの  
①文字数に規定はなし  
②児童・生徒1名につき1作品。

**応募対象** 全国の小学校・中学校に在籍する児童・生徒。

**表彰** 文部科学大臣賞＝小学校の部、中学校の部各1名。ほかに、全国賞(小学校の部、中学校の部に福岡県内から各1名)、優秀賞、PTA推薦賞。

**審査員** 教育ジャーナリスト、漫画家らの予定。

**応募方法** 作品は担任の先生に提出し、各学校は、その中から1学級当たり2割程度を選び、応募一覧表とともに県P事務局へ送付。

**応募先・締め切り** 令和4年1月14日(金)、〒812-0046福岡市博多区吉塚本町13-50、福岡県吉塚合同庁舎5階、福岡県PTA連合会事務局必着。

【問い合わせ：福岡県PTA連合会事務局 ☎092-643-7766】

福岡県PTA連合会 PTA活動災害保障制度のお知らせ

PTA活動中の事故によるおケガや法律上の損害賠償責任は

**『PTA活動災害保障制度』**でカバーしています

(PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険・受託者賠償責任保険)

例えばこんな時は  
ご相談ください!

- ・PTA主催の親子バレー大会で、参加したお母さんが転倒して負傷された・・・
- ・PTA活動の除草作業中に、草刈り機から石が飛んで近くに停まっていた車の窓ガラスが割れてしまった・・・

※保障制度の詳細については、制度取扱代理店にお問合せください。  
©制度に関するお問合せ先：制度取扱代理店 株式会社コーリン(福岡県PTA連合会保障制度事務局) ©制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社  
TEL：0120-228-553(受付時間：平日午前9時～午後5時) 2021年11月現在の内容です。 D-005386(2022-10)





山際千津枝の

食べるっていいですね

>106<

9月初旬、ほんの少し秋の気配を感じ晴れた日にリンゴ狩りに行きました。田川市の隣の川崎町。観光リンゴ園のリンゴの木がオーナーになって4年目、毎年この日が楽しみです。

川崎町の山間部にある手入れの行き届いた小さなリンゴ園、枝がしなるほどたわわに実った赤いリンゴ。

幼い頃、体が弱かった私本当ですってば...は寝込んでリンゴのすりおろしを作ってもらっていました。おばあさんになった今でも、どんなに体調が悪くて食欲がなくてもリンゴだけは特別。リンゴと牛乳があれば生きていけるな...いつも思います。大好きな食べ物があるというのは幸せです。それが身体に良いものならなおさら。

「1日1個のリンゴは医者いらず」はイギリスのことわざです。リンゴは胃腸に優しく生活習慣病の予防になると言われています。ちなみに西洋リンゴが日本に入ってきたのは130年ほど前だそうです。

リンゴはバラ科の植物なので香りもすてきです。サクランボ、モモ、ウメ、ビワ、イチゴ、ナシ、プルーンも全てバラ科の果物です。リンゴの赤い色(青や黄色も)と丸くかわいい形も元気をくれます。果物が食卓に上る幸せな食生活を子どもたちのために守りたいと思います。

### リンゴ大好きです

#### マンゴースの独り言

オリブオイルに含まれるオレイン酸が多いのも特徴で、若さを保つといわれるビタミンEも多く栄養的にもリンゴとの相性がとても良いのです。今年の秋はリンゴをたっぷり楽しんでください。



### 県教委通信

#### 11月は「ふくおか教育月間」

福岡県教育委員会では毎年11月を「ふくおか教育月間」としています。

子どもたちが変化の激しい時代の中でたくましく生き抜く力を身に付けるために、学校、家庭、地域が連携・協働し、県民全体で子どもたちを育てていくことが求められています。

学校教育と社会教育の連携を強め、社会全体が一体となった教育を実現するためには、県民の皆さま一人一人が教育の重要性や在り方について考えていただくことが大切です。

「ふくおか教育月間」が、県民の皆さまにとって、子どもを育てる当事者としての意識をさらに高め、いただく契機になることを願っています。



イメージキャラクター「ミライル」

11月はふくおか教育月間

「ふくおか教育月間」のイメージキャラクター「ミライル」は、これからの社会に羽ばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精です。

「ミライル」という名前には、笑顔(スマイル)があふれる未来(ミライ)に羽ばたいてほしいという願いが込められています。福岡県在住のキャラクターデザイナー谷口亮さん(東京2020オリンピック・パラリンピック公式マスコット製作者)にデザインしていただきました。

(総務企画課)

## 「夢を夢で終わらせない人生」を語ります

### クロバープラザ(春日市)で11月11日に母親研修会

講師

競泳の松田丈志さんと育てた久世由美子さん



福岡県PTA連合会(県P)の令和3年度母親研修会は11月11日午前10時半から春日市のクロバープラザで開かれます。

講師は競泳の松田丈志さん(ミライル)をオリピックメダリストへと導いた久世由美子さん。「夢を夢で終わらせない人生」を語っていただきます。

#### 講師紹介

筑紫女学園高校卒。旭化成で競泳実業団選手として活躍。水泳指導歴45年。その中でも松田丈志選手を4歳のころから約28年間指導し、4大会連続オリンピック出場3大会連続メダリストへ導いた。選手の強化だけでなく、あいさつ・返事・礼儀・感謝の気持ちを大切に指導し「息の長い選手が育ってほしい」と、指導者や保護者にも講演を行っている。

現在、延岡市水泳協会副会長。同市の教育委員会教育委員、観光大使も務める。文部科学大臣賞ほか多数を受賞。

#### 広報委員のひとりごと

縁あって福岡県PTA新聞の作成に携わらせていただくことになりました。取材・編集の過程で細かな所にまで目を通し議論する姿に、正直これまでPTA新聞を熟読したこと

のなかった自分を恥ずかしく思いました。これまでも先輩方が同じように思いを込めて作ってくれていたのでしょう。新聞に限らず「光の当たりにくい場所」で自分では誰かのために人知れず懸命に動いてくれている人がいる。そんなことを改めて考える機会を与えてくれるこの1年を「コロナなんかには負けず」に全うしたいと思えます。(八)

日々是好日 その51 わたなべさき

左の頬を差し出したくはないが **STOP 暴力** **パシッ!**

例えば右の頬を殴られても

非接触型体温計を向けられたら **はいはい どうぞ** **ピッ**

おでこを差し出す

ディスプレイを見かけたら **パッ=ユッ**

両手を差し出す

ここ数年で人類の習慣がすごく変わったよね!

ある意味 **ダーウィンの進化論** よりすごいかも!!